(別添3)

【美濃加茂市】

校務DX計画

《環境の整備》

1. 1人1台端末（指導者用）の整備

指導者用の端末においては令和3年度から整備しており、授業支援に活用しています。また、令和7年度以降については、3～4年計画で教員が教室等で学習指導に活用できる校務PCの整備も予定しています。

2. ネットワークの改善

・現在、市内小中学校の全校において、普通教室、特別教室、体育館でのインターネット接続が可能です。

・本市では、回線事業者と帯域確保型の回線（10校：1Gbps、1校：100Mbps）を契約しており、一定の通信帯域を保証しており、文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を満たしている。今後、学校のネットワークの不具合が生じた場合は、都度、美濃加茂市教育委員会事務局が回線事業者または委託業者（ネットワーク保守業者）と連携し対応します。

3. 校務のデジタル化

・FAXでのやり取りや押印について、クラウドサービスの活用や書類の電子化を推進することで、令和7年度中に原則廃止していく予定。

・名簿情報等の手入力作業について、令和6年度から校務支援システムと他のシステムやソフトウェアの連携を進めており、不必要な作業の削減を図っている。

・校務系ネットワークシステム等の現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討（次世代の校務システムの導入を視野に入れて）を令和7年度から実施する。

4. 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がソフトウェアを積極的に利活用することが前提となる。そのため、各ソフトウェアの使用法に関する研修を毎年実施するとともに、他の自治体並びに市内の優良な事例を共有する研修を年数回実施する。